

# 情報のデジタル化プログラム 附属文書

## 1 概要

### 1-1 目的

この資料は、平成 16 年度日本自転車振興会補助事業「開発段階のソフトウェア評価改善等に関する調査研究報告書」(財団法人 コンピュータ教育開発センター 平成 17 年 3 月 31 日発行)の附属文書である。

### 1-2 著作権

この文書は、庄司涉、岡崎博樹および高橋正視がその著作権を保有し、財団法人コンピュータ教育開発センターにて上記資料目的でその利用を許可されたものである。

### 1-3 利用規定

本事業にて開発したプログラムは以下の規定により利用することができる。

- ・ソフトウェアの著作権は開発者に帰属する。各プログラムの開発者名はそのソースプログラム上に記載している。
- ・本プログラムの配布は、財団法人コンピュータ教育開発センターが行う。
- ・本ソフトウェアは、以下の範囲において自由に利用することができる。
  - (1)小中高等学校における教育目的における利用
  - (2)教員研修における利用
  - (3)教員が授業実践事例を発表目的に、放送、印刷物その他への利用  
ただしソフトウェアの再配布に係る事項は含めない。
  - (4)利用の範囲には、プログラムの使用、複製、解読、改変を含む。  
ただし、複製は授業にて利用する目的の範囲の枚数であり、再配布等を目的とする場合の複製は含めない。  
また改変されたプログラムにおいても、本プログラムの範囲における著作権は開発者が保有する。
- ・上記に規定する以外の目的において利用する場合は、財団法人コンピュータ教育開発センターおよび著作権者の承諾を必要とする。
- ・本プログラムを使用に係る動作保障等の責務は、財団法人コンピュータ教育開発センターおよび著作権者の何れも負わない。
- ・本プログラムを放送。印刷物等において紹介する場合は、「競輪の補助金において財団法人コンピュータ教育開発センターにて作成されたソフトウェアである」ことを表記するよう希望する。

## 2 プログラム説明書

### 2-1 プログラム名等

- ・プログラム名           情報のデジタル化
- ・ソースプログラム       プロジェクト ( W4 ) =formW4+ws\_functions
- ・オブジェクトプログラム   W4.exe
- ・プログラムドキュメント   本書